

氏名	井原 寛子	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	血液学、腫瘍学、細胞検査学				
学位	博士（医学）				
学歴	東京医科歯科大学大学院医歯薬総合研究科博士課程修了				
経歴	慶応義塾大学医学部放射線科学教室共同研究員				
所属学会（役職）	日本癌学会、日本検査血液学会、日本血液学会、日本臨床細胞学会、日本臨床検査医学会、日本放射線腫瘍学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	The correlation of salivary telomere length and single nucleotide polymorphisms of the ADIPOQ, SIRT1 and FOXO3A genes with lifestyle-related diseases in a Japanese population	共著	あり	○	PLoS One . 2021 Jan 28;16(1):e0243745.	Xiao Han,Ryo Kubota,Ken-ichi Tanaka,Hiroyuki Hayashi,Miyuki Seki,Nobue Sakai,Noriko Kawaguchi-Ihara,Kyoko Arakawa,Ikuo Murohashi
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	血液学概論	○	8	血液学の基礎として、造血の仕組みや、血球の種類と機能、凝固・線溶の流れについて講義した。遠隔授業（オンライン）で実施した。		
2	血液学Ⅰ	○	16	主に血液疾患、血液学的検査（主に形態検査）について講義した。遠隔授業（オンライン、オンデマンド）で実施した。		
3	血液学Ⅱ	○	8	凝固・線溶系について、各検査や疾患の繋がりを把握できるよう講義した。（遠隔授業（オンライン、オンデマンド）で実施した。		
4	臨床検査学概論		1	血液学分野の概論を担当し、次年度以降に行われる血液学について1年生にも興味を持てるような話題を交えて講義を行った。遠隔授業（オンデマンド）で実施した。		
5	病因病態検査学		2	大学院博士前期課程の講義の中で血液学分野を分担した。遠隔授業（オンライン）で実施した。		
6	医療安全管理学		1	検体採取法（採血法）についての講義を分担した。遠隔授業（オンライン）で実施した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	検査総合演習		2	4年生の国家試験に向け、血液学、染色体検査学のまとめの講義を行った。遠隔授業（オンライン）で実施した。		
2	健康福祉科学演習（病因病態検査学）		16	大学院博士前期課程の指導学生に対し、論文作成に先立ち病因病態検査学関連の演習を実施した。遠隔授業（オンライン）で実施した。		

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	血液学実習Ⅰ	○	23	初めての採血実習を安全かつ正確に実施できるよう、デモ、ビデオなどを多用しながら進めた。実習は主に形態学的検査を扱った。前期は遠隔授業（オンライン）、夏期に対面で集中授業を実施した。
2	血液学実習Ⅱ	○	23	凝固・線溶系の検査を中心に実施するとともに、臨地実習に向け、前期実習内容の確認も行った。遠隔授業（オンライン）、対面集中授業を実施した。
3	臨床腫瘍学実習	○	16	少人数の選択科目であり、腫瘍細胞のstemness関連実験の他にも、臨床腫瘍学分野で報告された疫学調査や分子標的療法薬に関する論文、関連の新聞記事などを提示し、問題提起と問題解決に向けたディスカッションを行った。また、病院見学によるがん治療現場の理解に努めた。実験と見学は対面で、講義は遠隔授業（オンライン）で実施した。
4	遺伝子・染色体検査学実習		7	染色体検査を担当し、実際の染色体写真の症例を用いて、実際の染色体解析を行った。対面授業で実施した。
5	IPW実習	○	23	副主任科目責任者、6チームの地域担当補助として、初の遠隔IPW実習のプログラムの作成、取りまとめを行った。事例作成、手引き作成をした。オリエンテーション、実習、報告会、意見交換会は遠隔（オンライン）で実施した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4-2020.12	主指導	3名 副指導 名
2	修士論文	2016.4-現在	主指導（指導教員）	1名 副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文		主指導（指導教員）	名 副指導（指導補助教員） 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	越谷市教育委員会	越谷科学技術体験センター運営委員		2019.11-2021.11
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	埼玉県内施設勤務の専門職	研修会の運営した。遠隔（オンライン）で実施した。	2020.11
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	学生・就職支援委員会		2018.4-現在
2	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携部会		2019.4-現在
3	全学的委員会及びセンター業務等	IPW実習運営部会		2009.4-現在
4	学科等における委員会等	臨地実習実施担当		2016.4-現在
5	学科等における委員会等	就職支援担当		2008.4-現在
6	大学広報活動	オープンキャンパスにおいて、実習室紹介コンテンツを作成した		2008.4-現在
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月

1	該当なし		
8.	特記事項		
	該当なし		